

聞いたことある？もみじ狩り！

秋ですね～。最近は秋が短くて冬が急に訪れる！という年もあります。11月初旬は誰か何と言おうと「秋」だと思っています。なぜなら、10月下旬から11月初めは紅葉の時期だから。

葉の色が変わるのは、木が冬の準備のために葉の付け根に壁を作るため、葉で作られた栄養が枝の方に流れなくなり葉の機能を停止する段階で赤や黄色に変わるらしいです。赤や黄色、黄緑色の葉の重なりは四季の移ろいを感じさせますよね～。ちなみに今年は愛知県豊田市にあるもみじの名所、「香嵐渓」が気に入っています。見に行けるかな～



読書の秋ですね・・・最近本、読んでる？

全国学校図書館協議会による学校読書調査では、昨年度中学生が1カ月間に読んだ本の冊数は平均4.3冊、高校生が1.3冊だそうです。みなさん自身と比べて、どうですか？最近忙しくて本読んでないよーという人も多いんじゃないかなと思います。

そこで2019年4月から9月の貸出し数ナンバーワンを出してみました！！なんと貸出回数5回の同率で3冊が1位にランクイン。まずはみんなが読んでる本、読んでみたら面白いかも？よかったら手に取ってみてね★



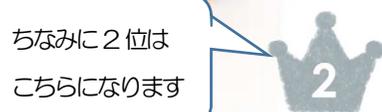
『蜜蜂と遠雷』
恩田陸/著



『小説はたらく細胞』
清水茜/原作



『本好きの下剋上』シリーズ
香月美夜/著



ちなみに2位は
こちらになります



第2位は貸出回数3回の同数で複数冊がランクイン。『高校数学でわかるアインシュタイン』『考える方法』『そして、バトンは渡された』『熱帯』『昔話法廷』！様々な分野の本が読まれました。読みたい本、あったかな？



2017年に直木賞と本屋大賞のW受賞をした『蜜蜂と遠雷』。10/4からは松岡茉優主演の映画も公開されています。本と映画の両方でピアノの演奏を楽しんではいかが？♪
2冊目はマンガで人気の『はたらく細胞』。小説版も強かった！
3冊目『本好きの下剋上4-1』。現在第4部まで出ているシリーズです。この10月からはTVアニメ化もされているので人気に拍車がかかりそう？！



新着図書ピックアップ



『さかなつりにいこう！』

村上 康成【著】

「さかなつり」と題しているだけに、魚の絵はもちろんですが、他の動植物も図鑑を見ているように詳細に書かれています。著者が言うには、釣りをしていると、魚以外の生態系も知っていくのだそうです。春はヤマメ釣り。夏はイワナ釣り。秋はニジマス釣り。冬はワカサギ釣り。四季の釣りを描く中で、鳥、山菜、川、樹木、足跡…周りの自然も素敵です。ちなみに、EMC所蔵のエッセイ本『本日釣り日和』の表紙絵は著者が担当。釣り仲間なのですね。(黒川)



『怖くて眠れなくなる植物学』

稲垣 栄洋【著】



恐ろしいお話です。“人間と比較すれば植物は奇妙で、気持ち悪いものだ”とぞっとする語り口で、読み進めるうちにSF小説のようです。哲学的な話にも及び、「人間が最強だ！」と思っている人にはこの本を読むと物事の考え方が変わるかも。万が一ですが…核戦争後の地球は放射能で汚染され、人類は滅亡し誕生時の地球環境に戻ると、植物ははたまたかに出現する…こわ〜い！ちなみに『面白くて眠れなくなる植物学』も同じ著者です。(黒川)

『クモのイト』

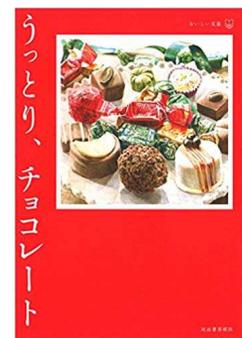
中田 兼介【著】

動物（主にクモ）の行動学や生態学が専門の大学教授が書いた本。子グモは糸を使って空を飛び？クモは日本人より多く宇宙に行っている？などなど、知られざるクモの生態や知恵が満載です。そうそう、クモは基本的に群れない孤高の生き物だそう。クモが苦手な私ですが、このことを知ってなんとなく親近感がわくまでに至りました。(大迫)



『うっとり、チョコレート』

浅田 次郎 ほか【著】



だいぶ涼しく、肌寒さを感じる季節になってきました。涼しくなってくると、チョコレートを食べたくなりませんか？この本はチョコレートをテーマにして書かれた、様々な作家のエッセイ（文章）を集めてまとめています。美味しそうなチョコレートスイーツやチョコとの思い出などがつづられているのですが、なかでも伊藤まさこさんの「真夜中のチョコレートケーキ」には共感しなかったです…。(大迫)

新着ピックアップは毎月、司書が「これはぜひ読んで！」と思う本を選びすぐってお届けします。上記以外にも新着図書がたくさん届いています。カウンター前の新着コーナーをご覧ください。

趣味は読書と言いたい・藤崎一臣の

本、読んでいこう！ Vol. 25

『夏の騎士』 百田尚樹【著】(2019年)



中間考査お疲れ様でした！

みなさん、読書の秋 楽しんでますか？

さて、今回紹介する本は、この夏に開催した EMC のイベント「ブックハンティング」で生徒が名古屋丸善でハントした本の中から1冊をチョイス。

『夏の騎士』

時間を忘れて、ぶっ通しで読んでしまいました。

筆者自身が面白いと言うだけあります！

クラスで冴えない男子3人組(小学6年生)が「勇気」を出して取り組んだひと夏の冒険。

この冒険が彼らを変えただけでなく、他の人の人生までも変えてしまうのです。

「勇気」がこの作品の重要ワードではないでしょうか。

また、筆者の百田尚樹さんは、この作品を最後に小説家の引退を表明しています。

作品を通して、筆者から日本の未来を担う読者(特に若い世代)に向けた思いが込められた作品でもあるように感じました。

みなさん。いや、私自身にも問いかけなければいけません。

「勇気」を出して何かしたことはありますか？

やろうか、やらまいか迷っていませんか？

置かれた環境から目を背けていませんか？

人生一度きりです。勇気の大切さを知り、あなたの背中を押してくれるキッカケになるかもしれません。

さあ読書の秋を楽しもうじゃありませんか！

百田さん引退撤回してくれないかな…



第23回 松葉綾乃先生おすすめの『ちょっと今から仕事やめてくる』



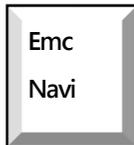
本のタイトルだけ見ると、学生のみなさんには惹かれるものがないかもしれませんが、しかし、この本は、人生に疲れた人、日々頑張っている人、苦しいと思う環境にいる人、すべての人に力をくれます。きっとこの先、社会人になったときにまで大切にしたい一冊になるはず。文章が読みやすく、サクサク読めるところもおすすめです。“あなたの人生は誰のためにありますか？”一答えを、本の中から探してみてください。

北川恵海【著】KADOKAWA

※お薦め本はリレー連載です。次のバトンはどなたに渡るかな？

11月の開館予定

Table with 2 columns: Day and Opening Hours. Shows dates from 1st to 30th of November with specific hours and closed days (休館).



EMC クリスマス便「図書館本をあの人に」申込受付中！をよろしくお願ひします。



あなたには、誰かに教えたい“とっておきの本”がありますか？今年も来ましたクリスマス企画・EMC があなたに代わって本をお届けします(EMC 所蔵の本を貸出します)。題して EMC クリスマス便「図書館の本をあの人に」。

友達、先輩、先生などなど、感謝の気持ち、アドバイス、あなたの気持ちを乗っけて、好きな相手にあなたからの一冊を選んでください。EMC でラッピングをして責任をもって貸出します。贈られた方も意外にうれしいと思いますよ。クリスマスのちょっとしたサプライズにどうですか？

匿名OK、秘密厳守、申込カンタン、もちろん無料、申込はEMC 2F カウンターまで。申込締切は12月6日です。皆さんの申込をお待ちしています。詳しくは教室掲示のポスターか、直接カウンターでこっそり聞いてみてください。お気軽にどうぞ。



受験シーズン開幕！『推薦入試！小論文&面接対策コーナー』& 自分の将来を考えてみませんか？「なるにはBooks」シリーズ



今月の特集コーナーは、推薦入試がシーズンインということで、受験生応援企画！小論文と面接の役に立つ本を集めてみました。事前準備大切ですよ。一度チェックしてみてくださいね。

もう一つ、将来なりたい職業ってありますか？夢や目標があった方が、なんとなく過ごしているよりも、いろいろとモチベーションも上がるんじゃないかな？というか、夢があるって、とても羨ましいことかもしれない。そこで「なるにはBooks」シリーズ。働くこと、将来のことを考えてみるきっかけになればいいですね。夢の実現は現実を知ることからです！



図書館からのお知らせ

- 2020年赤本(最新版)が続々と配架中です！赤本は、6年制進路指導室(2号館3階)にもありますので、EMCにない赤本をお探しの場合は、カウンターで尋ねてください。
● 高校生の就職試験SPIの本もありますよ。試験対策にぜひご活用下さい。

編集後記 カウンターは毎日、にぎわっています。秋本番！みんな自分のやるべきことに取り組んで頑張っていますね。陰ながら司書は応援しています！(黒川)

